

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	薬業科		科 目 区 分	その他	授業の方法	講義
科 目 名	化粧品化学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時間	前期	教室名	4校舎502
担 当 教 員	西岡利子	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
アロマセラピーの基礎について学び、自分や家族・周囲の人に対するケアを提案できる知識を身に付ける。また、AEAJ(公)日本アロマ検定協会実施のアロマセラピー検定1級の合格を目指す(11月受験web試験予定)。						
《成績評価の方法と基準》						
期末テスト70%、小テスト、課題、授業態度などを合わせて30%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
プリント、AEAJ公式アロマセラピー検定テキスト。図書室に入っているアロマ関連の書籍。Youtubeの動画など。						
《授業外における学習方法》						
日常の香りに触れ、自分が好きな香りを見つけてください。その香りをかいだとき、どのような気持ちになるのか一度文章にして考えてみましょう。また、植物によって、香りが違うのはなぜか、そもそもなぜ植物が香りを持つかなど、疑問をいろいろと持ったり、調べたりしてみましょう。						
《履修に当たっての留意点》						
自己管理をしながら無理なく頑張りましょう。資料となるプリントの管理を徹底してください。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	アロマセラピーとアロマセラピー検定の概要を説明できる。	テキスト・プリント	自分や家族がどんな香りが好きか考えてくる。	
		各コマにおける授業予定	オリエンテーション/アロマセラピーとは、アロマセラピー検定について			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	アロマセラピー検定テキストChapter1の内容について説明できる。	テキスト・プリント	将来、鍼灸師となった際、アロマセラピーをどのように利用できるか考えてくる。	
		各コマにおける授業予定	Chapter1:アロマセラピーの基本/イランイラン、オレンジスイート、カモミールジャーマン、カモミールローマン			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	アロマセラピー検定テキストChapter2の内容について説明できる。	テキスト・プリント	精油とはそもそも何なのか考えておく。教科書の該当部位を読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	Chapter2:精油のことを知る/クラリセージ、グレープフルーツ、サイプレス、サンダルウッド			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	アロマセラピーChapter3の内容について説明できる。	テキスト・プリント	アロマセラピーを利用する際、どのような注意をするべきか、想像しておく。	
		各コマにおける授業予定	Chapter3:アロマセラピーの安全性/ジャスミン、ジュニパーベリー、スイートマージョラム、ゼラニウム			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	アロマセラピー検定テキストChapter4の内容について説明できる。	テキスト・プリント	アロマセラピーを実際に使う場面を想像してみる。どんな香りが、どんなシーンにふさわしいか、など。	
		各コマにおける授業予定	Chapter4アロマセラピーの実践/ティトリー、ネロリ、パチュリ、ブラックペッパー			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	アロマセラピー検定テキストChapter5の内容について説明できる。	テキスト・プリント	生理学・解剖学の嗅覚の関連の該当部位をイラストだけでも見ておく。
		各コマにおける授業予定	Chapter5:アロマセラピーのメカニズム/フランキンセンス、ペチバー、ペパーミント、ベルガモット		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	アロマセラピー検定テキストChapter6の内容について説明できる。	テキスト・プリント	教科書の該当部位を読んでおく。アロマを健康や美容のために利用するならどんな風に使うか考えてみる。
		各コマにおける授業予定	Chapter6:アロマセラピー利用法/ベンゾイン、ミルラ、メリッサ、ユーカリ		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	自身が作成するアロマスプレアの活用法と効能を述べられる。	アロマオイル・スプレーボトル・プリント	自分の好きな香りと、アロマをどう使いたいか考えておく。
		各コマにおける授業予定	アロマを使った実習(予定):ルームフレグランスかスプレーを作成します。難しい場合は、アロマセラピーと鍼灸治療の併用について」		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	これまでの学習内容についての問題に解答できる。	テキスト・プリント	対策プリントを理解しておく。
		各コマにおける授業予定	小テスト:これまでの内容が習得できているかを確認する 解答・解説 前年11月のweb試験の問題を解いていく。		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	アロマセラピー検定テキストChapter7の内容について説明できる。	テキスト・プリント	教科書の該当部位を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	Chapter7:アロマセラピーの歴史 I /		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	アロマセラピー検定テキストChapter7前半の内容について説明できる。	テキスト・プリント	教科書の該当部位を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	Chapter7:アロマセラピーの歴史 II /		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	アロマセラピー検定テキストChapter7の内容について説明できる。	テキスト・プリント	教科書の該当部位を読んでおく。香りのサンプルを身近なものにしておく。
		各コマにおける授業予定	Chapter7:アロマセラピーの歴史III/精油の香りあての練習		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	アロマセラピー検定テキストChapter8の内容について説明できる。	テキスト・プリント	教科書の該当部位を読んでおく。最近の社会的なニュースを意識しておく。
		各コマにおける授業予定	Chapter8:アロマセラピーに関する法律		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	これまでの学習内容について説明できる。自分の好きな香りを説明できる。	テキスト・プリント	これまでの学習内容を確認し、理解を高めておく。
		各コマにおける授業予定	アロマセラピー総復習・香りの総復習。「私が好きな香り」発表(またはレポート提出)		
第15回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	これまでの学習内容について説明できるとともに活用法を述べられる。	プリント	これまでの学習内容を確認し、理解を高めておく。
		各コマにおける授業予定	まとめ・振り返り		